

元気モリモリ！ニンニクづくり

栽培のポイント

●地域に合った植付け深さ！

植付けの深さが浅いと温度が掛かりやすく生育が促進されますが、急速に温度が掛かると変形の原因となります。寒い地域で6～8cm、暖かい地域は5cm程度を目安に植付けましょう。

●寒くなる前に窒素の消化を！

ニンニクは冬の寒さを感じると休眠に入ります。休眠する前に体内窒素を消化させるためにMリンPKを効かせます。ガッチリ生育にしておくと、春先の生育がスムーズになります。

●春先の追肥が肥大をスムーズに！

再び動き始める春先は一気に養分を吸収します。この時にバランスの良いアミノ酸液肥のアミビタ類を追肥すると、玉の肥大がスムーズになります。



収穫前でも葉数が多い

ニンニクの施肥提案（1a＝30坪）

資材名	元肥	追肥① (定植 30～40 日後)	追肥② (春に芽が動き始めたら)
MリンPK	4 kg	1～2 kg	2～3 kg
バクヤーゼK	60 kg	—	—
NK化成	—	—	4～5 kg

収穫前にも、Pフォスタ 500 倍液を数回葉面散布

NK化成の代わりに、アミビタ類 10kg とサンレッド 5000 倍液の混合液を株元カン水すると樹勢強化に効果バツグン。

根作りのコツ

MリンPKを効かせると発根が促進され、ビッシリとした根が張ります。また春以降にバイオ根助の500倍液を2週間おきにカン水すると、更に根張りが促進されます。

根作りの結果は手で抜くことで確認できます。MリンPKを使用した農家の方は、口をそろえて「根がすごいから収穫が大変だった」と笑いながら話してくれました。



MリンPKで玉揃い良し